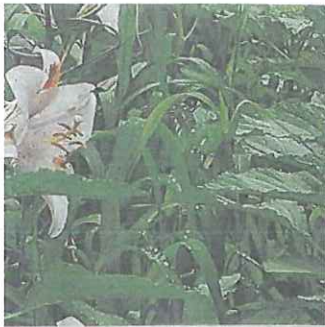


土地家屋調査士育成へ

中部ブロック協2校と連携協定

土地家屋調査士会中部ブロック協議会は3日、東海工業専門学校金山校（名古屋市）と東京法経学院（東京都）との連携協定を締結した。今後、インターンシップや各学校で調査士の仕事紹介などを展開する。

同会は岐阜や愛知な



ど中部6県の土地家屋調査士が所属。調査士



協定書を掲げる（左から）鈴木茂樹校長、神戸照男副会長、立石寿純社長＝岐阜市長良、岐阜グランドホテル

の数が年々減少する中、調査士を目指す学生を増やそうと、建築や測量などを学ぶ両校と連携した。

締結式は岐阜市長良

の岐阜グランドホテルで行われ、関係者110人が出席。神戸照男副会長は「調査士の減少を食い止められるよう連携する」とあいさつ。同学校の鈴木茂樹校長は「学生に興味を持ってもらう活動に取り組みたい」、同学院の立石寿純社長は「調査士と協力しながら進めたい」と話した。

式に先立ち、同会の総会が開かれ、茶屋和裕副会長を会長に選出する役員改選や、本年度の事業計画を決めた。

（湯浅裕作）

平成27年7月4日（土）付け 「岐阜新聞」より
連携協定締結式の様子